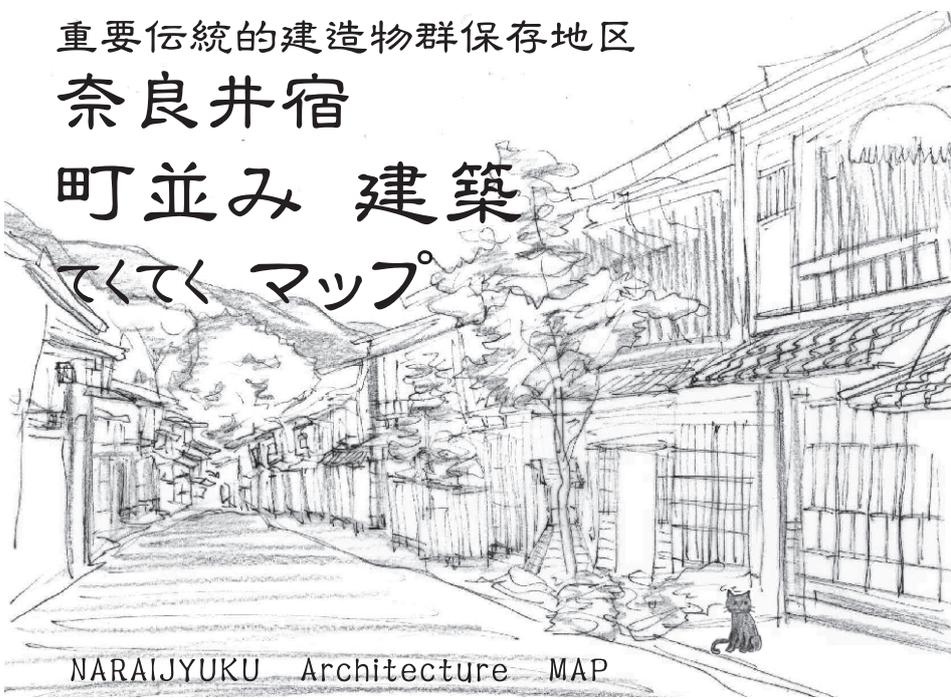


# 重要伝統的建造物群保存地区

## 奈良井宿

### 町並み 建築

#### てくてく マップ



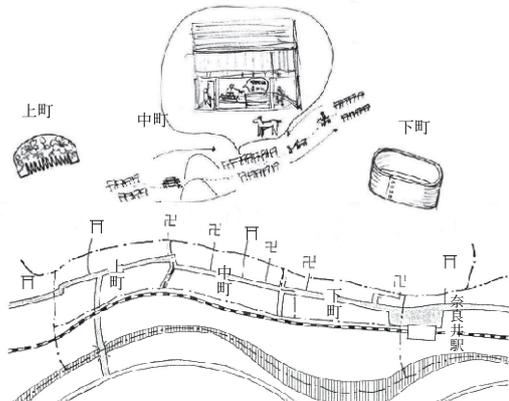
NARAIJYUKU Architecture MAP

## 中山道の宿場町 奈良井

木曾路は古来交通の要衝として栄えました。木曾路の中でも最大の難所が鳥居峠で、その北に位置し、土豪奈良井氏が居館を構えた奈良井の地は、交通のかなめとなる宿として繁栄しました。慶長7年(1602)徳川家康により中山道の宿駅が定められる中で、奈良井も宿駅として幕府関係者など公用旅行者や参勤交代の大名通行のために人馬を常備し、要請に応じて人馬を提供する義務や、通信の業務を果たすこととなります。

また近世、奈良井は檜物細工、塗物、塗櫛などの木工業等によって、多くの収入を得ていました。木曾谷の住民に尾張藩より下賜された白木御免木 6000 駄中の4分の1の1500 駄が奈良井にあてられており、生産量も群を抜いていました。

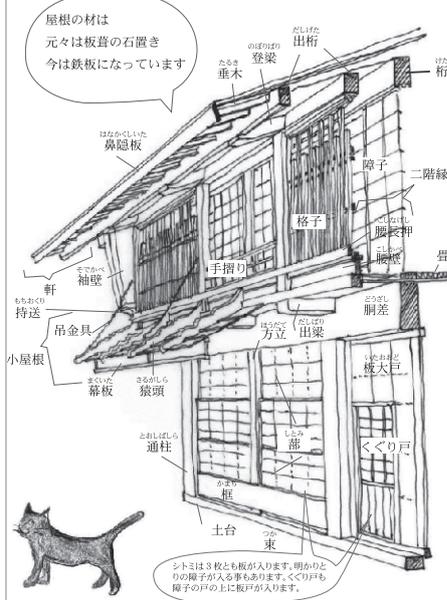
近代以降大火がなかったことから、江戸末期の形式を多く残した町家がよく残っていました。中村邸の移築問題を契機に、地域住民の町並みに対する関心が高まり、この熱意と宿場町の特色が認められ昭和53年に国から重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けました。



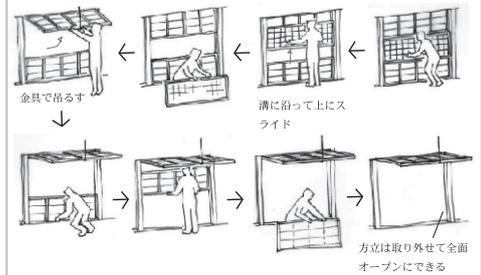
### 重要伝統的建造物群保存地区とは

文化財保護法の中に定められる、「伝統的建造物群保存地区制度」によって町並みが保存されている地区です。町並みとして保存していくため、保存地区内では、新築、増改築、修繕、色彩変更等、外観に影響する現状変更に関しては許可が必要です。また、伝統的な建築物はその特性を維持するため変更の際には規制があり、新築の際にも周囲の町並みと調和するよう様々な基準が設けられています。

### 町家の正面意匠と部分名称

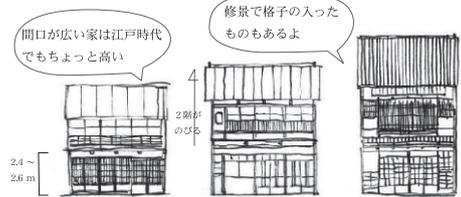


### 部 (シトミ) の開け方

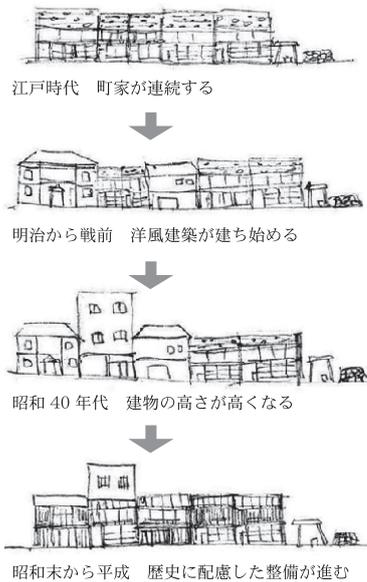


### 軒高と建築年代

江戸末～明治末	大正～戦前	戦後
3.6m～4.3m	5m～5.7m	6m以上

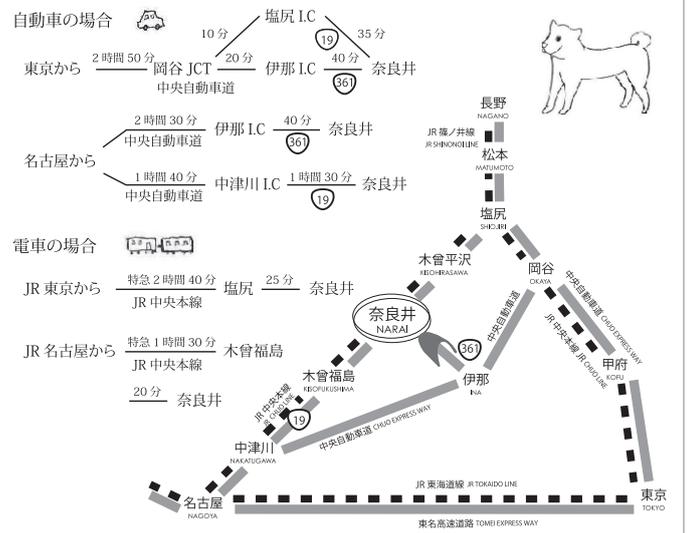


### 奈良井宿 町並み探訪



奈良井宿は、江戸時代の建築様式をよくとどめています。明治時代以降洋風の建築が建ち始め、建物の高さが高くなり建物が建てるようになりました。現在、重伝建に選定されてから30年が経ち、修理修景がしっかり行われてきた奈良井宿は、江戸の宿場町を肌で感じる町並みとなりました。江戸時代の形式をとどめた家で、現代の生活が行われていて、驚かされます。ゆっくり町を歩いてみてください。江戸時代の特徴をもつ家や、新しい建物を町並みに合わせるため工夫された家や倉庫を見つけることができます。店や資料館をのぞくと、歴史的な建物の力強さや空気を感じることができます。歴史を尊重した町のこれからがとても楽しみです。

### 奈良井宿までのアクセスマップ Access & Guide MAP



発行：奈良井宿保存委員会

このマップの内容は平成19年10月に取材したものです。

Design: Hiromi Hashizume

**扇屋 幕末頃**

二階の正面は、両側だけ格子が入る形で、当初の形をよくとどめています。

**藤屋 天保頃**

商売をしていない、いわゆるシモヤやでした。コヤネ、袖壁を持つ建物です。

**美濃屋 昭和10年代**

以前は、精米所だったそうです。ボーチ付きの入り口が、印象的。修景でとてもきれいになりました。

**伊勢屋 幕末頃**

元は牛馬宿をしていました。土間の南側に馬屋があったので、南側の出入り口から馬も入ったようです。

**国指定重要文化財 公開:有料**  
**上問屋 手塚家住宅 The Tezuka Residence**

天保11年(1840)代々問屋を務めた家で、近世後期から庄屋も務めていました。普通の町家より間口が広いです。奈良井には二つ問屋があり、月の半期ずつ交代で問屋業務を行っていました。

**主屋断面**

天井に、ヘギタ(木を繊維にそってへいで板にしたもの)が使われています

元々は別棟座敷に直接入れるように、土間が通っていました

**別棟座敷** **主屋**

棟縁が漆で塗ってから削ってあったり意匠的にも優れています

ここで、問屋業務が行われていました

**昭和初期**

近年まで、奈良井診療所でした。奈良井では珍しい、重厚な感じの洋館です。

**市指定有形文化財 公開:有料**  
**中村邸 The Nakamura Residence**

昔はカッテで炊きをしていたので、煙があがって屋根の板が傷んで、もちがよくなったそうです

出梁

中村邸の二階の格子

普通の格子

ザシキ ナカマ カッテ シモノ

天保8年から14年(1837~1843)の間に建築  
江戸時代には櫛間屋中村利兵衛の家でした。間口が狭く、奥に深いつくりで、奈良井の町家の典型といえます。出梁造になっていて、正面はシトミになっています。二階の格子の縦の材が、斜めについていて、幕末の規制の緩みを思わせます。

**二百地蔵 Two Hundred Jizo**

**中山道 杉並木**

Nakasendo cedar tree avenue

**八幡宮 Hajiman Shrine**

**専念寺**

**水場 Water Place**

**水場 Water Place**

**中世の土豪 奈良井氏の居館跡**

**法然寺**

**祠と松**

**大宝寺**

**神明宮**

**長泉寺**

**水場 Water Place**

**浄龍寺**

**若宮様**

**復元された高札場**

**水場 Water Place**

**中山道の難所**

